

新 ももも書店

第64話 R02.01.31(金)

「本当の無罪なんて
あるのだろうか。」

★今回、紹介する本は、『完全無罪』（著/大門剛明、出版/講談社文庫）です。

今回は、最後まで油断ができない、骨太なミステリー小説です。最近、シリーズ第2弾『死刑評決』も発売され、注目されている作品だと思います。

主人公は、若手女性弁護士の松岡千紗。千紗は、21年前の少女誘拐殺人事件のえん罪に関わる裁判に指名される。ずっと刑務所に入っていた被告は、「自分はやっていない」と主張し続ける。

ただ、実は、千紗も21年前に同じ犯人に誘拐されており、自分を誘拐したかもしれないその被告と向き合うことになる。千紗は、しっかりと自分のトラウマに向き合うことができるのか。そして、その被告は本当に犯人なのか。最後までひきつけられる極上のミステリーです。また、人を裁くことの意味や難しさ、人間としての尊厳とは何かを突きつけてくる1冊でもあります。続編もあわせてどうぞ。



とても読みやすく、一気に読んでしまいたい。

